

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 5 区分
 【発行日】平成29年5月18日 (2017.5.18)

【公開番号】特開2014-184953(P2014-184953A)
 【公開日】平成26年10月2日 (2014.10.2)
 【年通号数】公開・登録公報2014-054
 【出願番号】特願2014-61466(P2014-61466)
 【国際特許分類】

B 6 0 N 2/015 (2006.01)

B 6 0 N 2/34 (2006.01)

B 6 4 D 11/06 (2006.01)

【F I】

B 6 0 N 2/015

B 6 0 N 2/34

B 6 4 D 11/06

【手続補正書】

【提出日】平成29年3月27日 (2017.3.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

各々が第 1 の座席 (21a、21b) と第 2 の座席 (20a、20b) である 2 つ座席を有する 2 つのブロック (10a、10b) のセットであって、

前記座席の各々は、当該座席の少なくともシートクッション及びシートバックの相対移動によって、着座状態と横臥状態との間で個別に変換可能であり、前記座席のシートクッション及びシートバックは、実質的に水平面に配置されて前記座席上に横たわる平面の一部を形成し、前記セットにおいて、前記 2 つのブロックは、長手方向 X に向きが定められた長さ Lx の側縁 (102) と、前記長手方向 X に直交する前記セットの横方向に向きが定められた前端 (103) 及び後端 (104) とによって境界が定められた前記セットの外接長方形 (101) の内側で、前部ブロック (10a) の座席が後部ブロック (10b) の座席と向かい合わせの状態に配列され、

前記 2 つのブロック (10a、10b) の前記第 1 の座席 (21a、21b) は、前記外接長方形 (101) の第 1 の対角線 (105) に沿って前記セット (100) 内に配列され、前記第 1 の座席の長手軸 (211a、211b) は、方向の観点から前記第 1 の対角線 (105) の方向に接近しており、前記第 1 の座席は、実質的に向かい合わせで配置され、

前記 2 つの第 1 の座席 (21a、21b) の間の距離は、前記横臥状態において対象の前記第 1 の座席の搭乗者の足が置かれるブロック (10a) の第 1 の座席 (21a) の足領域 (212a) が、上から見た場合に、他方のブロック (10b) の前記第 1 の座席 (21b) の足領域 (212b) と重複する距離であり、前記 2 つの第 1 の座席 (21a、21b) が前記横臥状態である場合、前記 2 つの第 1 の座席上に横たわる平面は、基準レベルに対して異なる高さであることを特徴とするセット。

【請求項 2】

前記外接長方形 (101) の幅に対応する前記前縁 (103) 及び前記後縁 (104) の長さ Ly は、前記 2 つの座席のシートクッション及びアームレストの累積的な幅により決まり、前記前部ブロック及び後部ブロックの第 2 の座席 (20a、20b) は、第 2 の

対角線に沿って前記セット内に配列され、前記第2の座席の各々の長手軸(201a、201b)は、前記第2の座席の各々の足領域(202a、202b)が前記外接長方形(102)の内側に位置するように向きが定められる、請求項1に記載のセット。

【請求項3】

前記足領域(202a、202b、212a、212b)は、前記2つのブロック(10a、10b)の間で中央コンソール(30)内に配列された足元空間(32a、32b、31a、31b)に対応し、前記第1の座席(21a、21b)の前記足元空間(31a、31b)は重複し、前記第2の座席(20a、20b)の前記足元空間(32a、32b)は、前記第1の座席の前記足元空間(31a、31b)の左右側に並置される、請求項2に記載のセット。

【請求項4】

各座席(20a、20b、21a、21b)は、シェル(203a、203b、213a、213b)内に収容され、前記前部ブロック(10a)の第2の座席(20a)のシェル(203a)の後面は、前記外接長方形(101)の前縁(103)に実質的に接触しており、前記後部ブロック(10b)の第2の座席(20b)のシェル(203b)の後面は、前記外接長方形の前記後縁(104)に実質的に接触しており、前記第1の座席(21a、21b)の各々の前記シェル(213a、213b)の後面は、前記外接長方形の前記前縁又は後縁に対して前記外接長方形(102)の内側に向かって距離DLxだけオフセットしている、請求項1から3のいずれかに記載のセット。

【請求項5】

前記中央コンソール(30)は、前記座席の搭乗者の各々に配慮して個々の快適性又は娛樂性を具現化する、前記2つのブロック(10a、10b)の間の視覚的な分離部を形成する、請求項1から4のいずれかに記載のセット。

【請求項6】

前記少なくとも1つの第2の座席(20a、20b)上に横たわる平面は、少なくとも1つの第2の座席を含む前記ブロック(10a、10b)の隣接する前記第1の座席(21a、21b)上に横たわる平面に対して高さがオフセットしている、請求項1から5のいずれかに記載のセット。

【請求項7】

前記2つの第2の座席(20a、20b)の各々の上に横たわる平面は、同じブロック内の隣接する第1の座席(21a、21b)上に横たわる平面に対して高さがオフセットしており、前記外接長方形(101)の同じ側縁(102)のそばに配置される2つの座席上に横たわる平面は、前記外接長方形の他方の側縁のそばに配置される2つの座席上に横たわる平面に対して、同じ上向き又は下向きの方向に高さがオフセットしている、請求項6に記載のセット。

【請求項8】

長手軸Xに沿って並置される請求項1から8のいずれかに記載の少なくとも2つのセット(100、100')の少なくとも1つの列(200)を有し、前記列において、第1のセット(100)の後部ブロック(10b)の後面は、前記第1のセットの後方で当該第1のセットに並置される第2のセット(100')のブロック(10'a)の後面に接触していることを特徴とする旅客車両用客室又は客室の一部分。

【請求項9】

前記少なくとも2つの並置されたセット(100、100')の外接長方形は、長さDLxだけ部分的に重なり、長さLxのN($N \geq 2$)個の並置されたセットは、長手方向Xに沿って全長 $N \times Lx - 1 \times DLx$ を占める、請求項5と組み合わせた請求項8に記載の客室又は客室の一部分。

【請求項10】

前記外接長方形(101)の同じ側縁(102)の近くに配置され、前記外接長方形の他方の側縁の近くに配置される2つの座席に対して下方にオフセットしている2つの座席は、客室又は客室の一部分の往来通路(201)の側面に配置されている、請求項7と組

み合わせた請求項 8 又は 9 に記載の客室又は客室の一部。

【請求項 11】

セット（100）は、2つの座席の前部ブロック（10a）と、2つの座席の後部ブロック（10b）と、中央コンソール（30）とを有し、前記前部ブロック、前記後部ブロック、及び前記中央コンソールは、前記フロアに配列された固定点によって客室又は客室の一部のフロアに、相互に独立して所要の分離距離で固定されている、請求項 8 から 10 のいずれかに記載の客室又は客室の一部。

【請求項 12】

前記第 1 のセットの後方で当該第 1 のセットに並置される第 2 のセット（100'）の前部ブロック（10'a）に接触して背中合わせで配置されている第 1 のセット（100）の後部ブロック（10b）は、前記ブロックの座席の機能に有用な装備品を共用する、請求項 8 から 11 のいずれかに記載の客室又は客室の一部。

【請求項 13】

請求項 8 から 12 のいずれかに記載の客室又は客室の一部を含むことを特徴とする航空機。